

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和7年度 技術情報第28号(イチゴのナミハダニの殺虫効果試験)について (送付)

イチゴのナミハダニに対する主要農薬の殺虫効果について、下記のとおり取りまとめましたので、周知およびご指導をよろしくお願いいたします。

なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ (<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>) にも掲載しています。



令和7年度 技術情報第28号

イチゴで用いる主要農薬のナミハダニに対する殺虫、殺卵効果を調査しましたので、防除指導の参考にしてください。

- 1 対象作物 イチゴ
- 2 対象病害虫 ナミハダニ
- 3 供試虫 日置市伊集院町のイチゴ施設栽培ほ場で採集し、累代飼育した個体群の雌成虫及び卵 (伊集院個体群)

4 殺虫効果試験の結果と注意事項

1) 試験結果

- (1) イチゴで用いる主要農薬11剤を供試し、伊集院個体群で殺虫効果試験を行った。
- (2) 雌成虫の死亡率が80%以上(72時間後)となった農薬は、アグリメック、アファーム乳剤、コロマイト水和剤、カネマイトフロアブル、マイトコーネフロアブル、グレースシア乳剤およびダニオーテフロアブルの7剤であった(表1)。
- (3) 殺卵率が80%以上となった農薬は、コロマイト水和剤、コテツフロアブル、カネマイトフロアブル、グレースシア乳剤およびダニオーテフロアブルの5剤であった(表1)。
- (4) 今回の試験と令和4年の試験(参考の表、令和4年度技術情報第9号参照)を比較すると、コテツフロアブル、ダニコングフロアブルは殺虫効果の低下が示唆された。

2) 注意事項

- (1) 供試した農薬はハダニ類に登録(令和8年2月16日現在)があるものの、使用前には必ずラベル等を確認し、使用基準を遵守する。
- (2) ほ場の農薬散布状況によって殺虫、殺卵効果は異なることが予想されるため、散布後は効果を確認する。

5 調査結果

表1 イチゴのナミハダニ雌成虫及び卵に対する各種農薬の殺虫、殺卵効果（令和8年、室内試験）

供試農薬名	RAC コード	成分名	希積 倍数	伊集院個体群				カブリダニ ⁵⁾ への影響		ミツバチへ ⁶⁾ の影響
				殺虫効果(雌成虫) ¹⁾		殺卵効果 ²⁾		影	残	
				24h	48h	72h	7日後			
アグリメック	6	アバメクチン	500	×	◎	◎	△	×	7	14日(定植 後の使用 を避ける)
アフーム乳剤	6	エマメクチン安息香酸塩	2000	×	◎	◎	×	×	7	2日
コロマイト水和剤	6	ミルベメクチン	2000	×	◎	◎	◎	×	7	1日
コテツフロアブル* ³⁾	13	クロルフェナピル	2000	×	×	△	◎	×	14	10-15日
カネマイトフロアブル*	20B	アセキシル	1000	×	○	◎	◎	◎	0	乾◎
マイトコーネフロアブル	20D	ビフェナート	1000	×	◎	◎	×	◎	0	1日
スターマイトフロアブル	25A	ジェヒラフェン	2000	×	×	△	○	◎	0	1日
ダニサラバフロアブル*	25A	シルメトフェン	1000	×	×	×	×	◎	0	1日
ダニコングフロアブル*	25B	ビフルブミト	3000	×	×	×	×	◎	0	1日
グレーシア乳剤	30	フルキサミト	2000	◎	◎	◎	◎	×	100↑, -	1日
ダニオーテフロアブル*	33	アシナピル	2000	◎	◎	◎	◎	◎	0	乾◎

- 1) 殺虫効果：放飼 24、48、72 時間後の補正死亡率を ×：0～30%未満、△：30～60%未満、○：60～80%未満、◎：80%以上を示す
- 2) 殺卵効果：産卵 7 日後の殺卵率を ×：0～30%未満、△：30～60%未満、○：60～80%未満、◎：80%以上を示す
- 3) *：令和4年に殺虫試験を行った農薬を示す
- 4) 試験方法 ①採集日：令和7年10月22日（イチゴ施設栽培ほ場）②検定：殺虫効果試験：食餌浸漬法、殺卵試験：産卵葉の浸漬③展着剤：ベタリンA（10,000倍）を加用
- 5) カブリダニ（チカブリダニ、ミコカブリダニ）への影響は、アリストライフサイエンス株式会社 天敵等への殺虫・殺ダニ剤の影響表第36版（2025年11月更新）から引用 ◎：影響が小さい、×：強い影響ありを示す 残：天敵に対して影響のなくなるまでの期間で単位は日数、グレーシア乳剤の100↑はチカブリダニに対して100日以上の影響、-はミコカブリダニに対して残日数が不明であることを示す
- 6) 薬剤のミツバチへの影響は、農薬ハンドブック2026（一般社団法人日本植物防疫協会）及び農薬会社HPから引用。日数記載は記載の日数以降空けてから導入が可能 乾◎：薬液乾燥後は影響なし *影響のない農薬でも散布時は蜂を巣箱に回収し、薬液が乾いてから活動させる

(参考) イチゴのナミハダニ雌成虫および卵に対する各種農薬の殺虫、殺卵効果（令和4年、室内試験）

供試農薬名	RAC コード	成分名	希積 倍数	伊集院個体群	
				殺虫効果 (雌成虫) ¹⁾	殺卵効果 ²⁾
				72h	7日後
ダブルシューターSE	— 5	脂肪酸グリセリド ³⁾ スピノサト	1000	◎	×
コテツフロアブル	13	クロルフェナピル	2000	◎	◎
カネマイトフロアブル	20B	アセキシル	1000	◎	◎
スターマイトフロアブル	25A	ジェヒラフェン	2000	— ³⁾	×
ダニサラバフロアブル	25A	シルメトフェン	1000	—	×
ダニコングフロアブル	25B	ビフルブミト	3000	◎	×
ダニオーテフロアブル	33	アシナピル	2000	◎	◎

- 1) 殺虫効果：放飼 72 時間後の補正死亡率を ×：0～30%未満、△：30～60%未満、○：60～80%未満、◎：80%以上を示す
- 2) 殺卵効果：産卵 7 日後の殺卵率を ×：0～30%未満、△：30～60%未満、○：60～80%未満、◎：80%以上を示す
- 3) —：試験を実施していない